

「微弱無線設備登録制度」 の運用開始について

平成27年6月10日

全国自動車用品工業会
副理事長 加藤 学

1. 全国自動車用品工業会（JAAMA）とは

1



：全国自動車用品工業会

- 1969年(昭和44年)7月、発足
- 理事長：西脇 保彦 (株)ボンフォーム 代表取締役社長
- 「自動車用品部品に関する業務上の研究改善を行い、業界全般の進展に寄与するとともに会員相互の親睦を図る」ことを目的に活動。
- 現在、JAAMA加盟企業は66社。

【主な活動内容】

- ✓ 自動車用品・部品の質的改良および規格の作成と改善
- ✓ 新商品開発、新技術交流と設備相互利用
- ✓ 流通合理化対策の促進
- ✓ 自動車用品アフターマーケット情報・商品流通システム開発・補整
- ✓ PL保険団体制度導入
- ✓ 会員相互の親睦、交流強化

2. 「盗難発生警報装置自主基準登録制度」の取組み

2

- 自動車用品のアフターマーケットにおいて、海外からの模倣品や輸入品が流通し、これら製品の不良により車両事故、車両火災などに発展するケースが一部で報告。
- 国土交通省では2003年(平成15年)「盗難発生警報装置」及び「イモビライザー」の保安基準を規定。
- JAAMAでは、2006年(平成18年)6月より、車両に装着する「盗難発生警報装置」及び「イモビライザー」の技術基準適合性を確認する「盗難発生警報装置自主基準登録制度」を開始。
- この自主制度に登録された「盗難発生警報装置」に対してVASマーク、「イモビライザー」に対してIMBマークをそれぞれ発行。
- APARA（自動車用品小売業協会）では、VASマーク、IMBマークのある製品の販売を促進し、粗悪品の排除に貢献。



2. 「盗難発生警報装置自主基準登録制度」の取組み

3

【VASマーク製品の例】



【IMBマーク製品の例】



現状、国内における粗悪品の販売は、ほとんど確認されない状況。

3. 「微弱無線設備登録制度」について

4

- 総務省が実施している微弱無線設備に関する「無線設備試買テスト」の結果が示すとおり、多くの基準を満たさない製品が流通・販売されている状況。
- 自動車用品のアフターマーケットにおいて、FMトランスミッター等の微弱無線設備について、基準を満たし安心してご利用頂ける質の高い製品をお客様に提供する必要性を強く認識。
- これまで当協会が実施してきた「盗難発生警報装置自主基準登録制度」のノウハウを活かし、新たに「微弱無線設備登録制度」の実施について検討。



**本年6月1日、
「微弱無線設備登録制度」
をスタート。**



4. 「微弱無線適合マーク」について

5

**JAAMAが、微弱無線設備登録制度により、
技術基準への適合性を確認した製品には、**

「微弱無線適合マーク」

微弱無線設備



J A A M A
A000-000

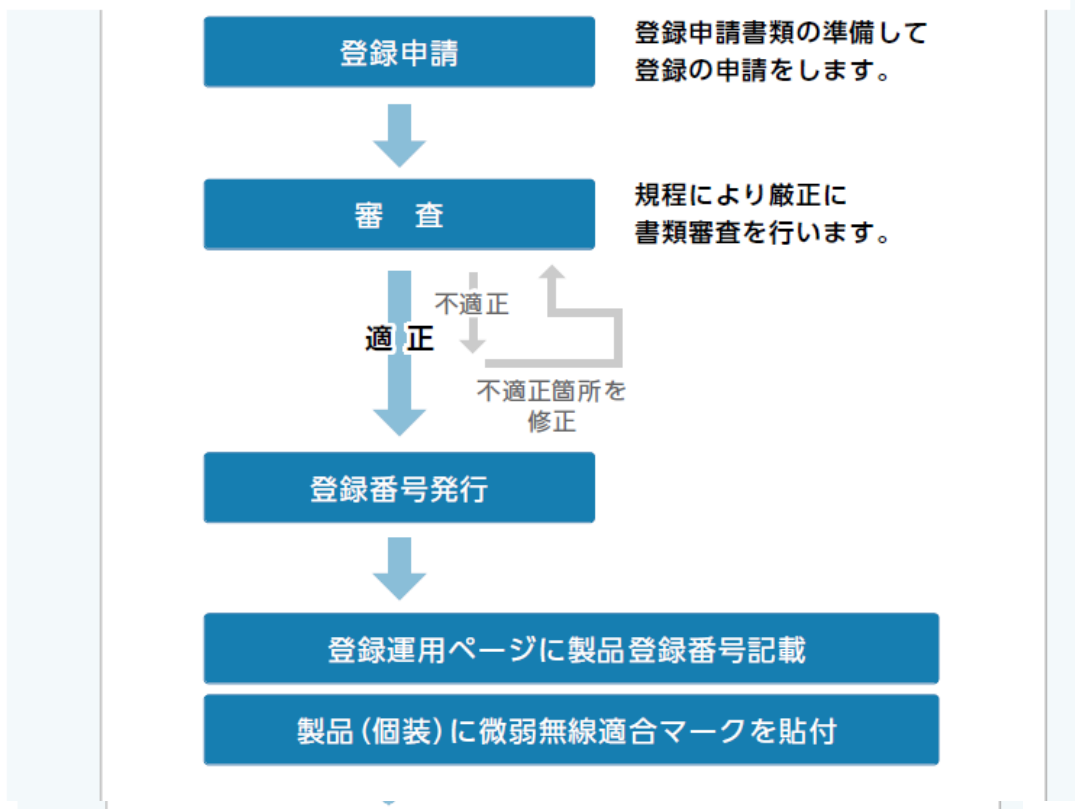
が付いています！！



4. 「微弱無線適合マーク」について



5. 「微弱無線設備登録制度」の運用（マーク取得までの流れ）





【技術委員会 参加メンバー】(50音順)

CARMATE	「安心と安全を次の世代に」 KATO-DENKI
株式会社 カシマ	KADACK 株式会社 カシマ企画
COMTEC	CIRCUIT DESIGN, INC.
SEIWA [®]	tama 多摩電子工業株式会社
Bullcon	株式会社 ミツバサンコーワ MITSUBASANKOWA Corporation
MIRAREED	Yupiteru
YAC 梶屋 ヤック 株式会社	



本登録制度実施により、次のようなメリットが期待できます。

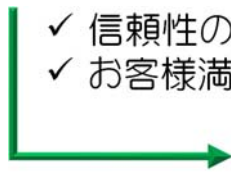
① 基準適合に関する公正性の確保

- ✓ 外部の指定試験機関による公正な試験の実施
- ✓ メーカー毎のばらつきを抑制

② CSRの確保、企業コンプライアンスの向上

③ 製販一体となった取組みによる粗悪品の排除

- ✓ 信頼性の高い製品群の提供
- ✓ お客様満足度の向上



APARA との連携
AUTO-PARTS & ACCESSORIES RETAIL ASSOCIATION



APARA加盟店では「微弱無線適合マーク」 が付与された製品を積極販売します



：自動車用品小売業協会

- 1998年（平成10年）に自動車用品店を経営する企業が集まり発足
- 会長：森本 弘徳（株式会社オートバックスセブン副社長）
- 「楽しくドライブしよう！」をスローガンとし、「楽しいドライブのための安心・安全点検の啓蒙・啓発の推進」を実施
- 現在、APARA加盟店は、**全国約3000店舗**



【正会員】(50音順)

(株)イエローハット	(株)オートアールズ
(株)オートバックスセブン	(株)クラフト
(有)小林ドライブショップ	住友ゴム工業(株)
(株)タクティー	(株)トーヨータイヤジャパン
(株)フジ・コーポレーション	ブリヂストンリテールジャパン(株)
(株)タイヤワールド館ベスト	(株)御浜商会
(株)山新	(株)湯佐部品
横浜ゴム(株)	

【賛助会員】 113社



1. 「**微弱無線適合マーク**」の拡大

- ・ 当該製品のみを製造、販売する事業者が増大
- ・ 消費者が基準適合性に関する意識を高める機会を増大

2. 微弱の基準を満たさない製品の流通が減少

- ・ 消費者が粗悪品に接する機会を減少



「みんなが、安心して電波を使用できる環境」の構築に向けた一助となることを期待



「ご清聴ありがとうございました」

